



# 今年も躍動!岩 2011年の幕開

2011年は岩手県の産業界にとって、  
厳しさの中にも希望を予感させる年。  
岩手県の企業をリードし、企業力を支える方々からの、  
新年メッセージをご紹介します!

## グローバルコンパクト車 世界No.1工場を目指して

関東自動車工業株式会社  
岩手工場 工場長 執行役員 田ノ上 直人



あけましておめでとうございます。私ども関東自動車工業は1946年に操業し、64年にわたりトヨタグループのボデーメーカーとして完成車両を製造してきました。また岩手工場においても1993年から操業し、2009年には累計200万台生産を達成しました。

しかし、リーマンショック、円高の影響、更には近年の新興国の台頭により、国内でのモノづくりは非常に厳しい時期を迎えています。

そんな中で、私たちは生き残りをかけ、今までの工場運営ではなく、「殻を破った改革」を進めていきたいと思います。それは開発部門、生産技術部門、そして私たち製造部門が融合し、お客様の求めている、安く、品質の良いクルマづくりをしていくことです。製造部門である私たち自らが開発部門や生産技術部門に車両構造から部品一つ一つにいたるまでの改善を提案、また設備や治具においては、自らが使いやすいようにカスタマイズする取組みを行っていきます。

また、日本古来の技術「からくり」を使った改善、特色あるオリジナルの設備を知恵と技術で自分たちで造る。あわせて次世代技術を産学

官の中で学ばせて頂き、研究し、モノづくり改革を推進しています。

ただし、この取組みを支えるのは「人」です。人材育成が私が考える最も大切なことです。

新興国の労働コストと比較すれば日本は非常に高い労働コストであることは事実です。しかしこの労働コストであっても、世界を凌駕する一流の人財を育てていく。クルマづくりもでき、設備メンテナンスもでき、図面も書け、改善もできる。そしてそれを仲間継承できる人材を育成します。

今はまだ世界の中にある一つの製造工場に過ぎませんが、今後は世界から注目される工場、モノづくりNo.1工場を目指します。

今年一年はまさにその勝負の年であり、私自身、誠意と情熱を持って進めていきます。

## 年頭のごあいさつ

財団法人いわて産業振興センター 専務理事 長葎 常紀



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、円高傾向が継続し、我が国の製造業には厳しい一年となりました。それでも、年末にかけて、アメリカ・日本ともに株価が復調するなど、明るい兆しも見え始めています。

昨年11月末には、本県と宮城県が「自動車輸送特区」に認定されました。自動車産業だけでなく、多様な産業への波及効果が期待される所です。

環境は常に目まぐるしく変わっていますが、当センターは、今後も県をはじめ各団体と連携しながら、下請あつせん、設備貸与、ものづくりアカデミー、経営相談など、さまざまなメニューで、岩手県内の中小企業の皆さまをご支援してまいります。どうぞお気軽に、いわて産業振興センターをご活用ください。

皆さまにとってよい一年となりますことをお祈り申し上げます。





# 手の産業界より、 けメッセージ

## 県内企業 卯年生まれの産業人 2011年の抱負



**北上市** 有限会社有田製作所  
専務取締役 平野 強  
1951年生まれ(入社34年め)

当社の業務内容は、治工具の装置部品、精密機械部品、多品種少量型(単品~100個ほど)です。70%が熱処理後の製作町工場です。

今年は私自身の卯年の年でもあり、あっという間に還暦を迎える年齢になりました。何にも分からずにモノづくりの道に入り、父である初代社長とは違った方向性をめざし、試行錯誤をくり返し今日に至りましたが、奥の深さに未だに葛藤の日々です。量産品、中ロット、単品など、どのような仕事であれ、それぞれ長所、短所があると思います。経営環境がたいへんきびしい移り変わりのご時世ですが、うさぎのようにピョンピョン跳ねすぎず、マイペースで一歩一歩挑戦する気持ちで、今年も仕事と戦っていきたいものです。



**北上市** 株式会社エツリコ・エンジニアリング  
代表取締役 菊池 公二郎  
1951年生まれ(入社26年め)

当社は大手メーカーの下請で、電力機器、工作機械、産業機械関連等の制御盤およびカバー類を取り扱っています。設計から板金、塗装および組立に至るまでの、一貫生産体制を持っています。

新年の目標は、とある統計予測における「日本の製造業の人口割合、30%から12%へ」、この12%の中に入れるよう、生き残りをかけた戦いに勝利することです。そのために、会社全体をお客様第一に作り変えること、多くのお客様を訪問し、絶えず実態をつかみ「お客様の信頼」を勝ち取ること、社員のやる気を出させる仕組みづくり、これらに取り組んでいきます。取り組むべきことはたくさんありますが、ひとつずつ実行していくことが大事だと思っています。

**洋野町** 株式会社ミナミ食品  
営業統括 南 一郎  
1951年生まれ(創業5年め)

2010年、岩手県知的所有権センター経由で「大豆ペースト」の特許について知り、従来から「ゆば」の製造をしていたことから興味を引かれました。早速、岩手県特許流通アドバイザーの千葉氏に仲介をお願いし、大阪の特許保有者とコンタクトを取りスピーディーに商品化に至ることができました。大豆ペーストは大変ユニークな食品素材で、さまざまな可能性を秘めています。

粉砕機を装備した新工場も竣工し、新商品開発に向けて精力的に活動しているところです。「南部せんべい」や「南部ゆば」といった、当社を代表する商品と並ぶ、当社の柱となるような魅力的な製品を作り出し、洋野から自信を持って発信できる“逸品”をつくる…これが2011年の目標です。



# 謹んで新年のお祝いを申し上げます